

中学校版 新学習指導要領に対応した外国語活動及び  
外国語科の授業実践事例映像資料2の活用にあたって

1. DVD作成の趣旨

本DVDは、学習指導要領改訂の大きなポイントである、「授業時数増」への具体的な対応の在り方という視点を中心に構成されています。授業の工夫改善にむけて、平成22年度に作成・配布したDVDとあわせて、教育委員会や学校等における研修等で積極的に活用してください。

本DVDに収録されている授業の指導案が、文部科学省HPに掲載されていますので、あわせてご活用ください。(掲載先URL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1322195.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1322195.htm))

映像資料2の特徴

小学校との接続を意識した授業
高校生との交流授業
ICTを活用した発信型の授業
単元を通した「書くこと」の指導

映像資料(平成22年度作成)の特徴

ALTとのTTの在り方
JTEとしての英語の使い方
「書くこと」における4技能の統合的な 活用の工夫
「話すこと」における活用を通して定着 を図る工夫
「読むこと」における学習形態を工夫し た指導

2. DVDの内容・視聴のポイント

本DVDには、以下の5校の授業が収められています。各授業の視聴のポイント等を記載していますので御活用ください。

テーマ	小学校との接続を意識した授業
学校名・学年	新潟県妙高市立妙高中学校 第1学年
授業での主な活動内容	掲示物やチャンツを活用してターゲットセンテンスに慣れ親しませる活動 生き残りゲーム(疑問詞 where や場所を表す前置詞を用いた問答を通して カードを集める) 指導案参照
視聴のポイント	・場面設定や掲示物を生かした新出事項の導入 ・外国語活動で経験したチャンツや活動(ゲーム)の取り入れ

テーマ	小学校との接続を意識した授業
学校名・学年	静岡県浜松市立南部中学校 第2学年
授業での主な活動内容	“Where will I go?”クイズ（be going to を用いて三つのヒントを英語で作成し、どこに行こうとしているかを相手に考えさせる） 指導案参照
視聴のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動での学びの流れに沿った単元や授業の展開</li> <li>・自分の考えや思いを表現する場面の豊富な設定</li> <li>・段階を経た表現力の定着</li> </ul>

テーマ	高校生との交流授業
学校名・学年	青森県むつ市立田名部中学校 第1学年 （青森県立田名部高等学校 第3学年）
授業での主な活動内容	ペアでの対話活動（“Do you like Japan or the USA?”について、自分の考えを伝え合う） 指導案参照
視聴のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル（あこがれ）としての高校生の英語への接触</li> <li>・英語でコミュニケーションすることの喜びや達成感</li> </ul>

テーマ	I C Tを活用した発信型の授業
学校名・学年	埼玉大学教育学部附属中学校 第2学年
授業での主な活動内容	「ぼくの・わたしの素敵な夏休み！」発表（一人ずつプレゼンソフトを用いて夏休みの計画を発表する） 指導案参照
視聴のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表に向けた様々な練習</li> <li>・プレゼンソフトを用いることによる話し方の工夫</li> <li>・聞き手を意識した話し方の工夫</li> </ul>

V

テーマ	単元を通じた「書くこと」の指導
学校名・学年	佐賀県鹿島市立東部中学校 第3学年
授業での主な活動内容	日本の伝統文化（もち、ゆかた、七夕等）を紹介する文章の作成 指導案参照
視聴のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の例文を基にした発信内容の拡充</li> <li>・書くことの目的・必然性の明確化（ALTからの要請を受けて書くという場面設定）</li> <li>・書いた作品を別の活動で活用（話す活動との統合など）することによる動機付け・意欲付け</li> </ul>